

<30年度事業報告> ① 法人全体の運営

項 目	「第13回通常社員総会」の開催
日 時	2018（平成30）年5月13日（日）16：00～16：45
場 所	しいの実シアター
内 容	2017（平成29）年度の事業報告、決算報告、会費報告 2018（平成30）年度の事業計画、収支予算、役員増員等の報告

項 目	「理事会」の開催
日 時	第98回から第103回まで、6回開催しました
場 所	しいの実シアター
内 容	2017（平成29）年度の事業報告、決算報告、会費報告についての承認 2018（平成30）年度の事業計画、収支予算、役員増員等についての承認 定款変更、役員増員、役員報酬規程及び役員報酬額、短期借入、利益相反について、「コンパクト演劇ゾーン計画」、地域拠点整備事業等について話合いました。

項 目	「島根演劇ネットの事務局運営
内 容	業務運営及び「次世代育成事業」の各種事務を行いました。

項 目	「八雲町地域振興活動団体交流会(やくもネット)」の事務局運営
内 容	事務局業務及びポータルサイト管理を行いました。

その他、下記の業務を行いました。

項 目	事業名	日 時	場 所
研修 受入	松江市職員のNPO研修受入れ	9～12月の6日間	しいの実シアターほか
研 修	NPO入門講座	H30/4/26	松江市市民活動センター
研 修	松江市職員研修報告	H31/2/1	松江市役所
研 修	ファンドレイジング作戦会議	H31/2/1	島根県民会館
視 察	広島周辺の芸術家アトリエ	H31/3/4～5	広島市、廿日市市
支援金獲得	イオンイエローシートキャン ペーン参加及び活動PR	年間5回	イオン松江店

<30年度事業報告> ② 表現・コミュニケーション能力育成事業

実施回数 86回、従事者数 延べ105名、受益者数 延べ2,260名の方に提供しました。

保育園 小学校 中学校 高校 短期大学 大学		実施月日	実施場所	従事者	受益者
講師	島根県立大学短期大学部 保育学科単発ワーク	H30/4/10	県立大学短期大学部	2名	43名
講師	島根県立大学 4年制 選択科目 表現とコミュニケーション(春期講座) (計9回)	H30/4/16.23 H30/5/7.14.28 H30/6/4.18.25 H30/7/2	県立大学体育館	延べ 27名	延べ 215名
講師	島根県立大学 短期大学部 選択科目 表現とコミュニケーション(春期講座) (計9回)	H30/4/12.19.26 H30/5/10.17.31 H30/6/7.21.28	県立大学体育館	延べ 27名	延べ 210名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援事業」 松江市立八雲小学校 1年×3組、2年×2組、3年×3組 各3回(計24回)	H30/6/8、13、22 H30/10/11、10/17 H30/11/7 H30/11/21 H31/1/22、1/25	松江市立 八雲小学校	延べ 9名	延べ 558名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援事業」 大田市立久手小学校 2年、4年、ひまわり学級×3回(計3日) 3年1回、6年2回	H30/6/29 H30/9/26 H30/11/29	大田市立 久手小学校	延べ 6名	延べ 346名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援事業」 飯南町立頓原中学校 1年×2回、3年×1回、2年×1回	H30/6/6 H30/9/27	飯南町立 頓原中学校	延べ 2名	延べ 49名
講師	島根県「文化芸術次世代育成支援事業」 松江市立八束義務教育学校 3、4、5、6年生 5クラス各2回(計10回)	H30/6/1 H30/9/19 H30/12/7	松江市立 八束義務教育学校	延べ 6名	延べ 277名
講師	松江市立美保関中学校	H30/6/13	松江市立 美保関中学校	1名	28名
講師	学校法人永島学園 明誠高校職員	H30/8/22	明誠高校実践室	3名	26名
講師	島根県社会福祉事業団 しらとり保育所	H31/1/10	しらとり保育所	3名	30名

団体 地域 PTA その他		実施月日	実施場所	従事者	受益者
講師	まつえ市民大学 いきいき健康コース コミュニケーションワークショップ	H30/5/24	松江市 市民活動センター	2名	42名
講師	どんぐり館 ファミリーサークル(土曜)	H30/5/19	どんぐり館	1名	32名
講師	どんぐり館 星キラ事業(在宅母子)	H30/5/25 H30/12/05	どんぐり館	延べ 2名	延べ 52名
講師	JAIいずも 女子大学ワーク	H30/6/13	JAIいずも地区本部 401会議室	1名	16名
講師	島根県「おもてなし塾」ワーク	H30/7/5	しいの実シアター かやぶき交流館	1名	20名
講師	島根県社会福祉協議会 「保育士キャリアアップ研修」保育実践	H30/8/20	松江市 島根県立大学	2名	44名
講師	平成30年度「プラバ音楽の学校」 第1回講座「音でコミュニケーション」	H30/6/21	松江市プラバホール 研修室	2名	12名
講師	文化庁:芸術家派遣による アウトリーチ活動(グラントワ委託事業)	H30/10/26	吉賀町蔵木中学校	2名	14名
講師	虹の子保育園保護者会ワーク	H30/11/11	緑ヶ丘養護学校体育館	2名	136名
講師	島根県看護協会 「助産師職能新人研修」	H30/11/17	島根県看護 研修センター	1名	16名
講師	島根県青少年育成県民会議ワーク	H30/12/8	サンレイク	1名	18名
講師	八雲公民館 青少年活動ワークショップ	H30/12/26	八雲公民館会議室	1名	40名
講師	平成30年度ジュニアリーダー研修会 美保関、本庄、島根、八束、持田公民館	H31/3/2	サンレイク	1名	36名

<30年度事業報告> ④ しいの実シアターの管理・運営事業

シアターの事業の柱は、「公演事業」「人材養成事業」「普及啓発事業」の3つ。このうち、シアターの管理・運営事業は、松江市との話し合いの結果、「人材養成事業」のみを実施し、「公演事業」と「普及啓発事業」は、演劇祭の管理・運営事業として実施します。

人材養成事業

事業名	アートマネジメント講座（松江・森の演劇祭）
日程等	①平成30年7月19日、30日、8月3日、29日、9月9日（全5回） しいの実シアター、平原会館 延べ48名参加 ②平成30年7月25～27日（3日間） 4名参加
目的・成果	①国際演劇祭で県外からの訪問者が増加。これに対応するボランティアリーダーの研修としてプロデューサーとボランティアが直接対話して解決すべきことが明確になった。 ②沖縄「りっかりっかフェスタ2018」でのOJT形式での講座 台湾の学生による国際感覚あふれるボランティア対応は大変参考になった。

事業名	コミュニケーションワークショップ リーダー養成講座
日程等	平成31年2月2日～3日（1回） しいの実シアター 講師：高尾隆氏 延べ22名参加
目的・成果	コミュニケーションワークショップの開催希望が年毎に増加しているため、指導者養成として実施。高尾氏の「受け入れる」ことを基本とした進め方が好評で、講座継続の声が多数あり、2020年度の開催を計画する

事業名	演劇公演創造講座（ユース公演）
日程等	音響講座 平成30年7月7日～8日、10月20日～21日（2回） 照明講座 平成30年11月10日～11日（1回） 演技講座 平成30年6月～12月（20回） 本番 12月2日（日）2回公演 講師：音響講座 奥隆史 照明講座 岡本敦 参加：中学生から一般 延べ307人＋観客50人
目的・成果	あしぶえの高校生用台本「セロ弾きのゴーシュ」に取組んで、脚色についての学び、各スタッフ作業の基礎、舞台登場時の基礎、舞台の場所による演出効果の違い、日本語発声の特徴など、参加者は始めて学ぶことが多い講座となった。2ステージ公演により劇場への初めての来場者も増加した。受講生の中には、その後の劇場企画にも参加するなど、劇場と受講生の繋がりも生まれた

事業名	「高校演劇部」支援事業
日程等	平成31年3月3日、16日（土）17日（日） 講師：園山土筆、有田美由樹、黒田徹 参加：松江南高校、松江東高校、松江北高校、松江商業高校、松江工業高校 松江農林高校の演劇部員及び教員延べ86人、観客180人
目的・成果	劇場の専門人材が講師となって、演出、演技、照明、音響等について指導。上記「演劇公演創造講座」に参加した生徒が、演出、演技、照明、音響等を担当したため、過去にないレベルの高さが見られた。今回初めて1作品上演となり、それに伴って、各高校の生徒・教員の連携・友好が深まり、作品の完成度も高まった。

事業名	島根県立いわみ芸術劇場(グラントワ)へ職員を派遣
日程等	① 平成30年8月17日（金）23日（木）（6日間）前村晴奈 ② 平成31年1月11日（金）～13日（日）（3日間）有田美由樹
目的・成果	① 「不思議の国のアリス」の仕込み・本番・バラシについて、直接スタッフから多量の学びを得た。 ② 「制作に関わる業務全般」について関わり、様々な作業の効率化と連携について学んだ。相談、連絡、報告がきちんと行われていたことが、強く印象に残った。

事業名	島根県立大学への講師等派遣事業
日程等	4年制 人間科学部保育教育学科 単発授業 4月10日 4年制 同上。 表現・コミュニケーション授業 4月16日、23日、5月7日、14日、28日、6月4日、18日、25日、7月2日 延べ258人 短大部 保育学科及び健康栄養学科 表現・コミュニケーション 4月12日、19日、26日、5月10日、17日、31日、6月7日、21日、28日 延べ210人 講師： 園山土筆、有田美由樹、前村晴奈
目的・成果	学生が、講師を評価した授業評価は、「全学部の中でトップであった」と大学側からの報告があった。

<建物管理・樹木管理>

敷地内木柵の修繕	劇場建設から23年が経過。 倒壊の危険性がある木柵を修繕し、腐食した木製のサークルを撤去した。
汚水樹の修繕	汚水樹が溢れるため、2つの樹を変更した。
小さな森づくり	モミジの紅葉が楽しめるように、大木を1本伐採し、遊歩道をほんのりと照らす明かりを設置した。（費用24万円は自己負担）
春秋の草刈り	春は、ボランティア、劇団員ら14名で5月27日（日）に、秋は10名で10月20日に実施。刈った草の処理と仕上げを松浦造園（株）に依頼。また、日常の草刈りは、シアター職員が行った。

<30年度事業報告>⑤ かやぶき交流館の管理・運営事業

施設の認知度は松江市周辺にも徐々に高まってきたが、今年度は演劇祭が無かったこと、今年度最多の利用者が見込まれていたイベントが台風により中止となったことの影響を受けて、前年比50%減という残念な結果となった。今後、毎年度確実な利用増が図れるよう努力していきたい。

<貸館事業>

事業名	利用者住所	利用者数
春とりどり展、将棋大会、更生保護女性会総会、農山漁村タウンミーティング、しいの実シアター未来学校、春・秋洋装展、点描画ライブアート、カフェアート講演会、紙々の遊び、	松江市	936人
女流4人展、カラコルム絨毯展	広島市	230人
ココカラ百貨店	境港市	300人

<自主事業>

事業名	日程	内容	利用者数
こいのぼりスタンプラリー	4/22～5/19	こいのぼり掲揚とスタンプラリー協力	78人
蕎麦ランチの提供	9/23、10/28	「ゼロ弾きのゴーシュ」公演と連携。	112人
来て！見て！やくも収穫祭	11/18	町内イベントに参加	326人
趣味の活動	通年	切り紙、フェルトちくちく遊びなど	38人
物販活動	通年	物販販売	190人

<施設管理>

漏電予防工事	屋外引込開閉器盤、弱電盤の取替工事を実施した。
多目的トイレ 洗浄機タンク漏水修理	建物移設20年経過のため、多目的トイレの洗浄機タンクの水漏れが発生。部品対応により軽微な修繕で改善できた。

<課題>

通路の改修工事	駐車場から建物に入るまでの通路が凸凹で、改修工事が急務。
駐車場の白線引き	駐車場の安全管理において、業者による白ライン引きを急ぎたい。

<30年度事業報告> ⑥ 松江・森の演劇祭の運営事業

この事業では、「公演事業」と「普及啓発事業」を実施しました。

公演事業

事業名	幼稚園・保育園連携公演「かえるくんかえるくん」
日程等	平成30年6月14日(木)～15日(金)(全2回) 人形劇団ひばたあむ 観劇：幼稚園・保育園児、在宅母子、地域の寿大学や地域寄合いの高齢者、 地域施設の身体障がい者、精神障がい者など237人
目的・成果	子どもの頃に良質作品を演劇専用劇場で観る体験は、子どもの発達に役立つ。 歓声をあげて舞台に集中する子どもたちに、高齢者は子どもと一緒に観劇することの良さを体感していた。今年度は幼保園8園と児童センター1館、公民館1館と連携して実施。在宅母子の家族も、昨年度14人が31人に増えた。

事業名	文化施設・学校連携による「セロ弾きのゴーシュ」公演
日程等	①西和賀町文化創造館銀河ホール(岩手県)9月2日(日)1回 ②しいの実シアター 8月5日、9月23日、10月7、28日 ③松江市立八雲中学校全校生徒 10月29日(月)(2回)合計1,420人
目的・成果	<p>①岩手・銀河ホール公演 早稲田大学・片山幹生氏からは「徹底的に磨き抜かれた舞台。28年にわたる上演を経たからこそ到達できる解釈と表現の深さがある」との評価を得た。 その一方で、国内有数の地域演劇祭を開催してきた銀河ホールは、長年勤務していた優秀スタッフが他のホールに行き、その結果、劇場運営に四苦八苦する様子が見えた。こういった状況を、「他山の石」として、今後も謙虚にマネジメント力の向上に務めなければならない。(190人)</p> <p>②しいの実シアター公演 公演終盤は観劇希望が殺到し、来場をお断りし、ゲネプロで観劇してもらうよう案内した。東京、大阪、奈良、岡山、福山、広島、三次、高知、下関、福岡等からの観客もあった。(897人、ゲネプロ150人)</p> <p>③八雲中学校貸切公演 演出による事前学習のうえ全校生徒が来館し好評を得た。作品鑑賞だけでなく奈落体験により、劇場への興味・関心を誘った。(観客数183人)</p>

普及啓発事業

事業名	学校公演とベイビーシアター
日程等	2018年6月14日(木) 19:00~21:00 しいの実シアター 講師：浅野泰昌氏、永野むつみ氏 参加：劇場関係者、福祉・医療関係者、保育関係者、子育て中の保護者等 41人
目的・成果	乳幼児期から舞台芸術にふれることで、その後の成長やコミュニケーション能力等に大きな変化が生じることを参加者で共有した。 アンケート結果：「芸術文化の果たす役割は子どもの成長に有効」「子どもが演劇など舞台芸術にふれることは必要」「子どもたちに演劇を観劇させたいか」という設問に対して、約92.3%が非常にそう思う、7.7%がほぼそう思うと回答した。

事業名	しいの実シアター未来学校(第1期3年度)
日程等	2018年8月6日(月)~8日(水) 毎日9:00~16:00 しいの実シアター、かやぶき交流館 講師：永野むつみ、大澤直(人形劇団ひぼぼたあむ)劇場スタッフ 参加：小学生~中学生19人、発表会38人
目的・成果	「芸術体験」と「暮らし体験」の2本立ての体験活動を継続。 人形づくりでは、「針と糸を使って縫う」「道具や材料を譲り合ったり助け合ったりする」などの「暮らし体験」を行った。 人形創作・操作では、自ら気付く、考えるなどの「芸術体験」を行った。

事業名	コミュニケーションワークショップ
日程等	①平成30年5月19日(日) どんぐり館 小1~6年生 26人 ②平成30年5月25日(土) どんぐり館 在宅母子、高齢者 26人 ③平成30年5月30日(木) TSK山陰中央テレビジョン本社 22人 ④平成30年11月11日(月) 虹の子保育園 保護者と園児136人 講師：園山士筆、有田美由樹、田中小百合
目的・成果	①異年齢児童の集まりで緊張感が漂っていたが、徐々に交流が可能となった。 ②乳児に見つめられることで高齢者は喜び、高齢者が笑うことで乳児が反応していた。子どもが迷惑を掛けるのではないかと肩身の狭い思いをしている母親は、子ども中心の交流で心が開放されていた。 ③企業の入社試験で実施。試験の殻が外れ、素の学生をみることができたとの感想が寄せられ、次年度以降の継続が決定した。 ④それぞれが役割分担し、一つの作品を創り上げて達成感を得た。「おんぶゲーム」は、日常的におんぶをしていなので保護者も園児も身体的な交流を楽しんでいた。

事業名	しいの実シアター 森のカレッジ 第3回「シェイクスピアってこんな人だった！」
日程等	平成平成31年2月24日（全1回） 講師：門野泉氏 参加：市民、高校・大学生、演劇祭ボランティア、劇場スタッフ 24人
目的・成果	講師・門野泉氏の情熱と解説の分かりやすさが奏功して大好評だった。 シェイクスピア作品のドラマ性だけではなく、宗教や階級制度などの社会背景を元にした奥の深い意味を知ることができた。また、想像とは違うシェイクスピアの意図を知ることによって、その面白さにはまっていく様子が感じられた。 その後、受講生の何人もの人たちから、講座の継続を求める声が届いている。

松江・森の演劇祭開催準備業務

支援員派遣制度の活用	全国公立文化施設協会の支援員派遣制度を申請して、日本大学建築学科特任教授・本杉省三氏を招き、しいの実エリア計画作成のために意見交換会を開催し、下記のプランを企画した。 【しいの実シアター】オフィス部分を他へ移動し。楽屋の確保。 【倉庫兼アトリエ】オフィス棟に改修。道具類は小さな小屋へ。 【ボランティア等の休憩所】ショップ兼用として小さな小屋を。 【平原会館】現状のまま使用。 【農村公園】テント劇場が設置可能になるような地面改良。
海外劇団との出演交渉	国内外の劇団とメールで交渉し、2020年の「松江・森の演劇祭」の上演作品の選定に入った。
ブルガリア公演の準備	在ブルガリア大使館からの招へいで、令和元年11月にブルガリアの首都・ソフィア及び大都市のブルガス国立人形劇場の2会場での上演についてやり取りを行った。
ボランティアガイド作製のための各種準備	前回の演劇祭で使用した「ポケットガイド」の見直し作業を実施した。

<30年度事業報告> ③ 物 販 事 業

物販事業によるグッズや地域産品の販売は、来場される方に喜ばれていますが、人手不足においては、収益増は見込めないのが現状です。

<30年度事業報告> サポ ー ト 会 の 活 動

項 目	あかりを楽しむタペと講演
内 容	シアターと演劇祭をもっと魅力的にするため、照明家の角館政英氏の指導を受けて、実験的なライトアップを実施。総会関係者や支援者へ「あかりを楽しむタペ」を提供。
日 程	2018(平成30)年5月13日(日) 17:00~17:30 講師:角館政英氏 18:00~20:00 あかりを楽しむタペ しいの実シアター及びロビー・エントランス

項 目	「ゼロ弾きのゴーシュ」の公演サポート
内 容	受付、もぎり、当日券販売、グッズ販売、駐車場誘導等を実施。
日 程	2018(平成30)年8月5日、9月23日、10月7日、28日 (いずれも日曜日)

項 目	しいの実シアター草刈りのサポート
内 容	しいの実シアター敷地内の草刈りサポートを実施。
日 程	2018(平成30)年5月27日(日)、10月20日(日)

項 目	「落ち葉集め」エコ活動のサポート
内 容	敷地内の落ち葉を集めて、松浦造園(株)に回収してもらい、シアター樹木の施肥に活用する作業。サポート会、正会員、オフィスメンバー、劇団員の他、ユース公演の参加者と家族の皆さんも参加。終了後、鍋パーティを開催。
日 程	2018(平成30)年12月15日(土)


監 査 報 告 書

令和 元年 5 月 8 日

特定非営利活動法人あしぶえ

理事長 園山土筆 様

特定非営利活動法人あしぶえ

監事 金津 ちや子 

監事 伊藤 寿子 

私たち監事は、令和元年5月8日、平成30年4月1日より平成31年3月31日までの平成30年度における業務及び会計の監査を行いました。その結果につき以下の通り報告いたします。

1 監査方法

- (1) 業務監査については、理事から業務の報告を聴取し、理事会議事録等の関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討しました。
- (2) 会計監査については、会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討しました。

2 監査意見

- (1) 事業報告書の内容は真実であると認めます。
- (2) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。
- (3) 収支計算書、貸借対照表、及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状況を正しく示しているものと認めます。

2018(平成30)年度 会費報告

2018(平成30)年4月1日から2019(平成31)年3月31日まで

認定NPO法人 あしづえ

会員の種類		2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	増減	会費納入状況
正会員	個人	60名	60名	増減なし	完納
	団体	7件	7件	増減なし	完納
創造活動会員		17名	19名	+2名	完納
サポート会員	個人	198名 833口	240名 881口	+42名 +48口	完納
	団体	8件 12口	8件 12口	増減なし 増減なし	完納

会員 地域別区分

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
正会員	団体	松江市内(八雲町を除く)	3団体	7団体
		八雲町内	3団体	
		出雲市	1団体	
	個人	松江市内(八雲町を除く)	20名	60名
		八雲町内	18名	
		県内(上記を除く)	12名	
		県外(大阪府、奈良県、兵庫県、広島県、山口県、福岡県)	10名	

会員区分		住所地	団体数・人数	合計
サポート会員	団体	松江市内(八雲町を除く)	7団体	8団体
		八雲町内	—	
		大田市	1団体	
	個人	松江市内(八雲町を除く)	74名	240名
		八雲町内	54名	
		県内(上記を除く)	56名	
		県外 (東京都、神奈川県、宮城県、岩手県、茨城県、長野県、静岡県、愛知県、大阪府、京都府、奈良県、鳥取県、広島県、山口県、佐賀県、長崎県)	56名	